

# 主体的な学びが目覚めるとき

～未来を切りひらく学び、それを生み出すコミュニティ～

参加費無料

2024

11.16 土

10:00 - 16:00

会場：板橋区役所南館 6 階研修室  
板橋区教育支援センター  
(東京都板橋区板橋 2 丁目 66-1)  
※都営地下鉄三田線 板橋区役所前駅 徒歩1分  
東武東上線 大山駅 徒歩10分

対象：全国の教員、教育行政関係者、  
大学・専門学校関係者、  
学生他 合計 80名程度  
(対面60名・オンライン20名程度)

## 第1部 ◆ 講演会

### 「実践を綴ることの意味を考える」

講師：松木 健一 氏

(福井大学理事・副学長、総合教職開発本部長・リカレント教育推進本部長、  
子どもこのころの発達教育研究推進機構長・SDGs推進室長)



## 第2部 ◆ 実践報告

3人の報告者から、主体的な  
学びに関する実践や、主体的な  
学びがもたらした成長などにつ  
いてお話を伺います。(詳細は  
裏面参照)

## 第3部 ◆ ラウンド テーブル

少人数のグループでテーブルを囲  
み、自由に意見交換します。講演会  
及び実践報告を踏まえて、自身の実  
践を振り返り、省察するとともに、  
今後の展望を語り合います。

お申込みはこちらから

二次元コードまたはURLからお申込みください。

[https://docs.google.com/forms/d/18kDowkazuEyZ0veRXHmIoso\\_wHWoo4pyBI0K1k\\_FDzE/edit](https://docs.google.com/forms/d/18kDowkazuEyZ0veRXHmIoso_wHWoo4pyBI0K1k_FDzE/edit)

参加申込み期間：2024年9月17日(火)～11月8日(金)



主体的に学びを進める子どもは、どのような姿を見せるのでしょうか。また、そうした学びに伴走する教師自身は、どのように学んでいくのでしょうか。そして、主体的な学びは、それぞれの未来を切りひらく力にどのようにつながっていくのでしょうか。

教師と子供の学びの姿は相似形と言われます。双方の視点から学びを見つめ直し、実践を支えるコミュニティの在り方にも焦点を当てながら、主体的な学びが目覚め、自走していく過程を参加者それぞれが省察します。ラウンドテーブルにおける対話を通して自分の実践を問い直し、新たな展開につなげる機会にしましょう。



## 第1部 講演会

- 10:00 開会あいさつ 清川 亨（福井大学連合教職大学院東京サテライト事務所長）  
趣旨説明 平岡 栄一（東京サテライトラウンドテーブル実行委員長）  
10:15 講演会「実践を綴ることの意味を考える」 講師：松木 健一氏  
11:05 質疑



## 第2部 実践報告

- 11:30 報告①「年少児保育におけるプロジェクト保育  
—探究と協働の始まりを考える—」  
さくら認定こども園 園長 伊藤 康弘氏
- 11:45 報告②「東大附属で6年間『探究学習カリキュラム』を受け、そこから10年経った今。  
果たして私は『探究』出来ているのか」  
株式会社コナミデジタルエンタテインメント  
作曲家（リードコンポーザー） 中島 直樹氏
- 12:00 報告③「主体的に学ぶ姿になるために～地域と連携・協働  
した探究的な学び『おがわ学』の実践から～」  
埼玉県立小川高等学校 教頭 岡本 敏明氏
- 12:15 質疑



## 第3部 ラウンドテーブル

- 13:30 ラウンドテーブルとは、自己紹介  
13:55 session 1 『振り返りと省察』  
14:35 session 2 『展望』  
15:35 シェアリング  
15:50 閉会あいさつ 福島 昌子（福井大学連合教職大学院東京サテライト事務所副所長）



【NITS・教職大学院等コラボ研修プログラム支援事業とは】

教職員支援機構(NITS)が、「学び続ける教員像」の具現化に資するため、各地域における現職教員の研修の高度化・体系化を実現するための支援をするものとし、各教職大学院等が実施する研修、セミナー、ワークショップ等の開催にあたり所定の補助を行う事業です。

【主催】 福井大学連合教職大学院  
東京サテライト

お問い合わせ

東京サテライトラウンドテーブル実行委員会  
石川 秀和・田村 砂弥香（実行副委員長）  
tokyosatellite2024@gmail.com